

2021年度の障害者虐待防止に係る本県の取組

1 2021年度第2回市町村実務担当者会議の開催状況

(1) 開催日時

2022年1月25日（火） 午前10時00分から正午まで

(2) 県からの報告事項

- ① 2020年度の障害者虐待の状況について（速報値）
- ② 2021年度上半期の障害者虐待の状況について（速報値）
- ③ 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の事例等について
- ④ 障害者虐待に係る事前質疑について
- ⑤ 2021年度第1回愛知県障害者虐待防止・差別解消推進協議会について
- ⑥ 障害者差別に関する相談事例について
- ⑦ 障害者差別解消法に基づく対応要領の策定状況等について
- ⑧ 愛知県障害者差別解消推進条例の見直しについて
- ⑨ 2021年度第1回県政世論調査について

(3) 講演「寝たきり社長 佐藤仙務の挑戦」

1991年（平成8年）6月28日生まれ、30歳、東海市在住
 生後1年で重度の脊髄性筋萎縮症に罹患し、ほぼ寝たきりという生活を送りながらも、19歳でホームページや名刺の製作を請け負う株式会社「仙拓（せんたく）」を立ち上げる。
 自らを「寝たきり社長」と称し、株式会社「仙拓」の社長を務めながら、大学の講師やYouTube活動、新聞のコラム執筆などを行う。
 （著者：「寝たきりだけど社長やってますー19歳で社長になった重度障害者の物語ー」彩図社など）
 また、マルチタレント業として芸能事務所「セントラルジャパン」に所属し、講演会やイベントに出演。

2 愛知県における障害者虐待防止研修の開催状況について

○相談窓口職員向け（市町村・障害者虐待防止センター・基幹相談支援センター等）

日程	研修科目	出席者
12月17日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の障害者虐待の動向等について（講義） ・障害者虐待対応における市町村職員の役割（講義） ・使用者による障害者虐待の対応と防止（講義） ・障害者虐待対応における相談窓口職員の初動対応の役割（演習） 	75名

⇒アンケート結果 P.2

○障害福祉サービス事業所向け（設置者及び管理者、サービス管理責任者、従事者等）

日程	研修科目	出席者
従業者向け 12月6日（月） 1月31日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の障害者虐待の動向等について（講義） ・障害者の権利擁護と成年後見制度（講義） ・虐待防止のために私たちができること ～障害者虐待防止法の概要を通じて～（講義） ・虐待防止の取り組みと通報体制の整備（講義・演習） 	計158名
体制整備 担当者向け 12月8日（水） 1月18日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の障害者虐待の動向等について（講義） ・管理者・経営者が意識すべき虐待防止体制について（講義） ・虐待防止体制整備内容の理解、および 演習で学ぶ整備手順と運営方法（講義・演習） ○虐待防止体制整備内容の理解 ○演習で学ぶ整備手順と研修方法 ○演習で学ぶ虐待の芽のつみ方 	計161名

⇒アンケート結果（12月開催分のみ） P.3～5

○成年後見制度利用推進研修

日程	研修科目	出席者
1月25日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度と意思決定支援の基礎理解（講義） ・事例検討（演習：グループワーク） 	69名

⇒アンケート結果集計中

2021年度の障害者虐待防止に係る本県の取組

○相談窓口職員向け アンケート結果

1. 受講者情報

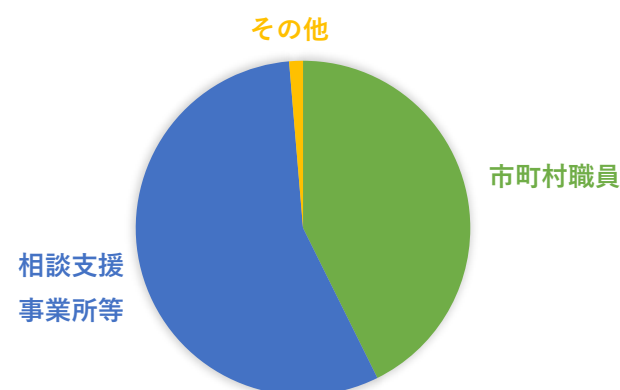
(1) 出席者数・アンケート回収率

	人数	割合
出席者	75人	94%
アンケート回収	53人	71%

※一部、所属内で複数人での視聴：計16名

(2) 所属・サービス種別・役職

	人数	割合
市町村職員	32人	43%
相談支援事業所等	42人	56%
その他	1人	1%



2 研修の開催方法について

・研修の長さについて

	人数	割合
長い（半日にしてほしい等）	18人	34.0%
ちょうどよい	32人	60.4%
短い（2日間行ってほしい等）	1人	1.9%
その他	2人	3.8%
合計	53人	100.0%

・研修の構成について

	人数	割合
基礎的な知識を獲得できる講義を充実してほしい	8人	15%
実践的な通報の受付場面等の講義を充実してほしい	10人	19%
実践的な事実確認場面等の講義を充実してほしい	19人	36%
実践的な虐待を判断した後の被虐待者・事業所への支援指導場面等の講義を充実してほしい	10人	19%
受講者同士のグループワーク（演習）を充実してほしい	1人	2%
その他	2人	4%
特になし	3人	6%
合計	53人	100%

3. 所属の虐待防止に係る体制整備状況について

(1) 所属の障害者虐待を受付するマニュアル等の整備、関係職員への周知

	人数	割合
独自のマニュアルが作成されており、関係職員に周知されている。	7	21.2%
独自のマニュアルは作成されているが、担当職員しか把握していない。	6	18.2%
独自のマニュアルは作成されていないが、関係職員で対応が周知されている。	11	33.3%
独自のマニュアルは作成されておらず、担当職員しか把握していない。	5	15.2%
わからない	3	9.1%
その他	1	3.0%
合計	33	100.0%

(2) 担当職員不在時の対応について

	人数	割合
障害者虐待防止担当職員不在の場合でも、複数名が対応できる体制にある。	14	42.4%
障害者虐待防止担当職員不在の場合、応じた職員が通報を受け付け、必要事項を確認して所属で判断することができる。	12	36.4%
障害者虐待防止担当職員不在の場合、通報を受け付けることができず、改めて連絡をすることになる。	3	9.1%
わからない	1	3.0%
その他	3	9.1%
合計	33	100.0%

○感想・意見等（一部抜粋）

- ・基礎的な内容の研修にしてほしい。どのような行為が施設従事者の虐待になるのかを支援場面ごとに説明する事例検討会を行ってほしい。
- ・ケース検討のグループワークを引き続き行ってほしい。
- ・虐待にあたる事例の共有、調査の仕方・実際の流れ・聞き取りの際の注意事項の例示、虐待対応した後の対応（いつ時点で虐待対応が終了するのか）の例示等、具体的な内容が知りたい。
- ・施設従事者虐待認定を受けて、改善に取り組んだ事業所の好事例が知りたい。

2021年度の障害者虐待防止に係る本県の取組

○従業員向け アンケート結果（12月開催分のみ）

1. 受講者情報

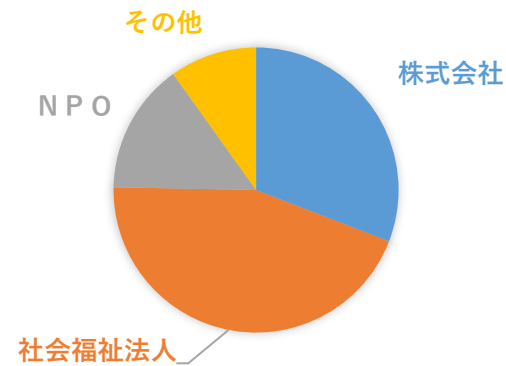
(1) 出席者数・アンケート回収率

	人数	割合
出席者	81人	90%
アンケート回収	73人	90%

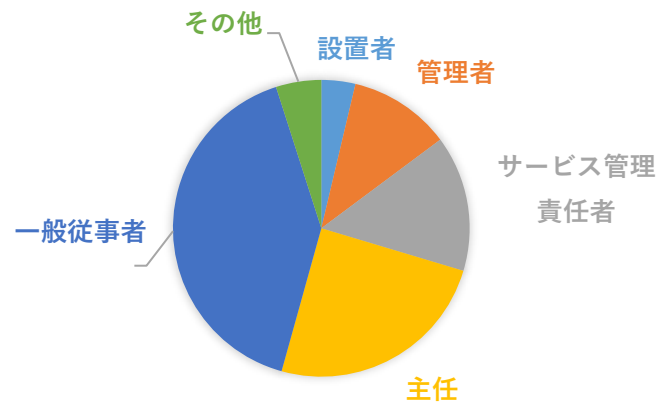
※一部、事業所（法人内）で同時視聴：80名程

(2) 所属・サービス種別・役職

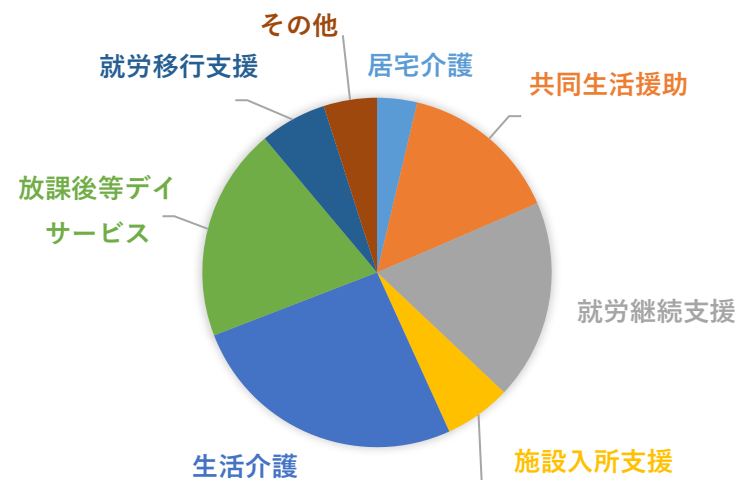
	人数	割合
株式会社	25人	31%
社会福祉法人	36人	44%
NPO	12人	15%
その他	8人	10%



	人数	割合
設置者	3人	4%
管理者	9人	11%
サービス管理責任者	12人	15%
主任	20人	25%
一般従事者	33人	41%
その他	4人	5%



	人数	割合
居宅介護	3人	4%
共同生活援助	12人	15%
就労継続支援	15人	19%
施設入所支援	5人	6%
生活介護	21人	26%
放課後等デイサービス	16人	20%
就労移行支援	5人	6%
その他	4人	5%



○体制整備担当者向け アンケート結果（12月開催分のみ）

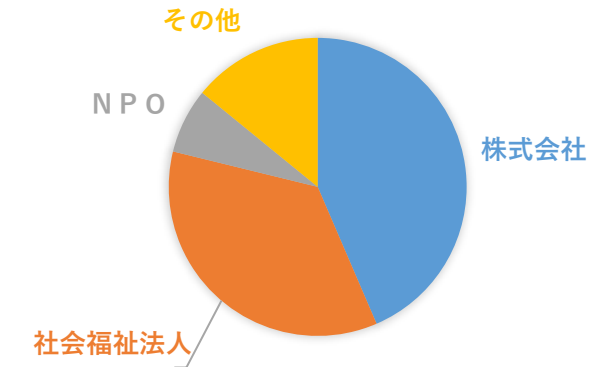
1. 受講者情報

(1) 出席者数・アンケート回収率

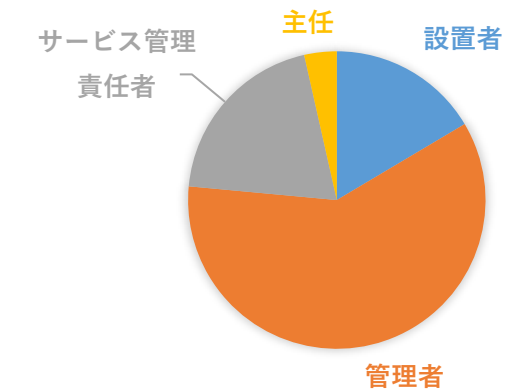
	人数	割合
出席者	85人	94%
アンケート回収	74人	87%

(2) 所属・サービス種別・役職

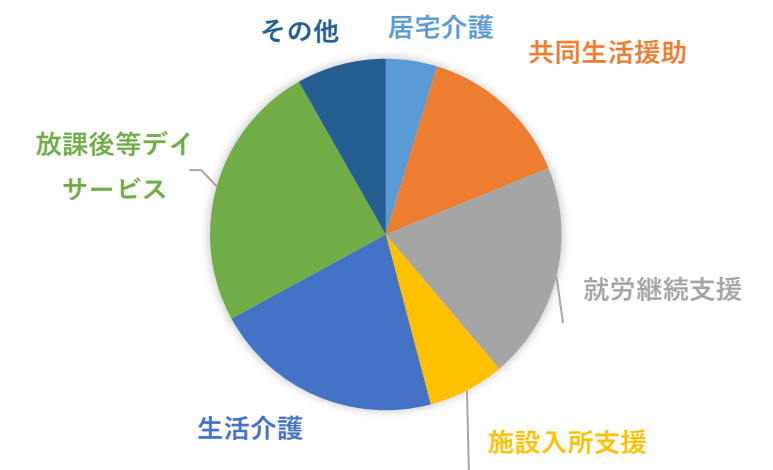
	人数	割合
株式会社	37人	44%
社会福祉法人	30人	35%
NPO	6人	7%
その他	12人	14%



	人数	割合
設置者	14人	16%
管理者	51人	60%
サービス管理責任者	17人	20%
主任	3人	4%



	人数	割合
居宅介護	4人	5%
共同生活援助	12人	14%
就労継続支援	17人	20%
施設入所支援	6人	7%
生活介護	18人	21%
放課後等デイサービス	21人	25%
その他	7人	8%



2021年度の障害者虐待防止に係る本県の取組

資料3

○従業員向け アンケート結果（12月開催分のみ）

2. 所属の虐待防止に係る体制整備状況について

（1）障害者虐待防止に係る研修が実施されているか。

	人数	割合
実施されている	46	63%
今後、実施される予定	17	23%
実施されていない	4	5%
わからない	2	3%
その他	3	4%
無回答	1	1%
計	73	100%

（2）虐待の防止等のための責任者（担当者）が設置されているか。

	人数	割合
設置されている	33	45%
今後、設置される予定	28	38%
設置されていない	5	7%
わからない	6	8%
無回答	1	1%
計	73	100%

（3）虐待防止委員会が設置され、検討結果周知されているか。

	人数	割合
虐待防止委員会が設置され、検討結果が周知されている	18	25%
虐待防止委員会は設置されているが、検討結果は周知されていない	7	10%
今後、虐待防止委員会が設置される予定	33	45%
虐待防止委員会は設置されていない	8	11%
わからない	5	7%
その他	1	1%
無回答	1	1%
計	73	100%

○体制整備担当者向け アンケート結果（12月開催分のみ）

2. 所属の虐待防止に係る体制整備状況について

（1）障害者虐待防止に係る研修が実施されているか。

	人数	割合
実施されている	46	62%
今後、実施される予定	26	35%
実施されていない	1	1%
わからない	0	0%
その他	1	1%
計	74	100%

（2）虐待の防止等のための責任者（担当者）が設置されているか。

	人数	割合
設置されている	43	58%
今後、設置される予定	28	38%
設置されていない	3	4%
わからない	0	0%
その他	0	0%
計	74	100%

（3）虐待防止委員会が設置され、検討結果周知されているか。

	人数	割合
虐待防止委員会が設置され、検討結果が周知されている	14	19%
虐待防止委員会は設置されているが、検討結果は周知されていない	15	20%
今後、虐待防止委員会が設置される予定	40	54%
虐待防止委員会は設置されていない	5	7%
わからない	0	0%
その他	0	0%
計	74	100%

2021年度の障害者虐待防止に係る本県の取組

資料3

○感想・意見等（一部抜粋）

①本県の障害者虐待の動向等について 共通

- ・細かい事例の内容が知りたい。
- ・各事業所での虐待防止に関する問題や課題などの共有をしたい。
- ・身体拘束について、具体的な事例があると認識がしやすいと感じました。
- ・虐待通報は、施設職員としては躊躇しやすい状態であるが、本来利用者を守ることが大切なので、行動に移す必要性を感じました。
- ・A型事業所なので、就労の場所での具体的事例が聞きたいと思いました。
- ・虐待防止研修の実施が年最低1回の実施で良いとは思わない。
- ・当法人の中で、会議して検討していくことがたくさんあります。参加することで、情報収集できてとてもよかったです。

②障害者の権利擁護と成年後見制度 従業者向け

- ・後見制度のことが少し難しく感じた。具体的な事例やプロセスをもう少し聞きたい。
- ・成年後見制度について、自身の担当に利用者がいないため一からの学習だった。機会があればまた改めて受講したいと思いました。
- ・学生時代に学んだ内容でしたが、長く深く触れていなかった分野であったため、その後や最近の動向を知るいい機会となりました。
- ・成年後見制度についてより理解を深め、利用者さんの保護者が成年後見制度について興味・関心が増えてきたので話す機会を作っていきたいと思います。
- ・利用者の方と意思疎通を図ることは難しく、まだまだコミュニケーションが図れていないと感じた。
- ・事例を挙げて、実際に意思決定支援の方法を学びたい。（グループワークなど）

③虐待防止のために私たちができること～障害者虐待防止法の概要を通じて～ 従業者向け

- ・もっと言葉（用語）を理解していかなければ、と思いました。
- ・虐待の判断基準や、誰が判断するのかについて理解する事が出来た。
- ・知的障がいの方の心に届くような言葉かけについて、本人様に対して失礼にならないような言葉を考えていきたいと思いました。

④虐待防止の取り組みと通報体制の整備 従業者向け

- ・私自身、障害者向けグループホームの運営に従事していますが説明も非常に分かりやすく、講義時間が短いと感じました。
- ・他法人のグループホーム運営について、もっとお話を伺いたいと感じました。
- ・「発生しやすい権利侵害」についてのチェックリスト使用は、自身の支援を振り返るための有効な手段だと思いました。ぜひ取り入れていきたいと思いました。

⑤管理者・経営者が意識すべき虐待防止体制について 体制整備担当者向け

- ・どのように職員と情報共有していくかが課題だと感じた。
- ・自法人内の各事業所の管理者と資料を含めた講義内容を共有します。
- ・負のスパイラルでは無く、良い支援のスパイラルが起きるよう、良し悪し関係なく小さなことでも皆でシェアしたいと思います。
- ・事業所全体で風通しのよい風土づくりと通報することが不利益になるという思い込みをなくす事が出来るかが重要と考えます。
- ・普段何気なく行っている支援がもしかしたら虐待かもと日々自問自答する機会になった。職員にどう周知するのか考えて早期に実施したい。
- ・常に利用者だけでなく、スタッフのメンタルも考えて接して行けたらと思いました。

⑥虐待防止体制整備内容の理解、および演習で学ぶ整備手順と運営方法 体制整備担当者向け

- ・所属する法人の施設所在地市町村は、かなり細やかに法人にも利用者にも対応して頂けますが、市町村によりかなりの差があることで、対応に困ることが多いです。強い行動障害のある利用者や家庭環境が複雑な利用者の支援には、私たち事業者はもちろんですが、市町村、相談支援センター、基幹センターの対応能力も上げていく必要があるかと思っています。
- ・資料を惜しみなく共有していただき、大変感謝しています。今後、自身の運営する事業所の体制整備を行っていくなかで参考にさせていただきます。
- ・具体的な様式や取り組み方が示されていて、すぐに実践ができる状態だったので有難いと感じた。
- ・何気なく支援していることがもしかしたら虐待かもしれない…。と感じハッとしました。今後の自分自身の支援を含め、事業所全体の支援を見直すいい機会となりました。
- ・グループワークに参加し、他事業所の取組や新しい視点を学ぶ事ができ、有意義でした。
- ・耳の痛い話もありましたが、改めて施設内での研修の必要性や職員同士の声掛け、自分自身の言動を見直す必要を感じました。
- ・暗黙の了解や、無意識の偏見など、気が付けばやっている事が多々ありました。研修を受けて「自分が利用者さんだったら」と、考えながら支援をしていきたいと思いました。
- ・体制整備については、法人全体と事業所ごとの取組とそれぞれをバランスよく進めなければならないと感じました。また、個人ワークとグループワークの組み合わせにより職員全体の理解促進を図ることが出来ることを演習により実感しました。
- ・職員に今回の研修を基にして、「虐待の芽のつみ方」のグループワークを全員で行い自らの無意識の偏見・差別を考えていきたいと思いました。